

事業計画書(その1)

<p>体の目的 *定款,規約,会則等に定めている目的を,そのまま転記してください。</p> <p>乳幼児を持つ親子が健康で明るく、安心して子育てができるように支援することを目的とします。</p>
<p>事業の分野</p> <p>保健,医療又は福祉の増進 社会教育の推進 ■まちづくりの推進 観光の振興 農山漁村又は中山間地域の振興 学術,文化,芸術又はスポーツの振興 環境の保全 災害救援 地域安全 人権の擁護又は平和の推進 国際協力 男女共同参画社会の形成の促進 子どもの健全育成 情報化社会の発展 科学技術及び学術の推進 経済活動の活性化 職業能力の開発及び雇用機会の創出 消費者保護 団体の運営又は活動に関する連絡,助言又は援助</p>
<p>事業の概要 *事業の全体像を簡潔に記入してください。</p> <p>地域の埋もれた力・人材(宝)を引き出しその力を活用して、子育て中の親子を応援するための事業</p>
<p>社会的背景と解決しなければならない課題</p> <p>*提案するに至った社会的背景や市民ニーズ等は何ですか。また解決しなければならない課題は何ですか。</p> <p>(現在の活動状況)子育て支援の場として「はなっこ」は24年度から、花田助産院で助産師をはじめとする専門職を持つ人と託児ボランティアとともに、離乳食教室など4事業を開催している。子育て中の母親が子どもから少し離れて集中して学ぶ時間、ほっとできる時間と場所を提供している。4事業共、託児付の事業で開催しており、参加希望に託児ボランティア(支援者)不足で応えきれない現状がある。</p> <p>(社会的背景) このように、現在の子育て中の親たちは、子育て支援の場も充実しており色々な所でサービスを受けることができる。インターネットなどの情報も簡単に取り入れることができるなど恵まれている。しかし反面では、恵まれた環境(サービスやお金で解決できること)で、本来の母と子のふれあいや、親が作り与える喜びが少なくなっている。また、核家族化や地域とのコミュニケーションが希薄になり、地域間・世代間の繋がりを持たず、身近にそれらを相談する相手がいない。</p> <p>支える世代にも、カルチャースクールや生涯学習などの場は多くあり、各地域で開催されている認知症や介護予防のサロンなどもある。しかし、秘めた能力(これならできる、これ得意程度)をもちながら地域活動などには積極的に参加する人がいないなど、担い手不足を抱えている。また「こんなこと人に教えるなんて」「私など何にも取り柄がないし役に立たない」と、自分の能力に気付くことができず生きがいを持ってない人もいる。自分の能力を發揮できる場所がない。</p> <p>このようなことから、好きなことができる喜びと、人と楽しく活動することが生きがいとなるように、個人の能力を引き出すこと。そして、後にその能力を子育て中の親世代に伝えることができる場所として利用してもらえような活動にしたい。</p> <p>それには、先ず、支援者となる人が今の子育て事情を知り理解することが必要である。</p> <p>そして「これならできる、これ好き、得意」に気付き「これならお母さんたちと一緒にできる」「託児ならしてあげられる」「これなら教えてあげられる」と思える活動と場所が必要であると思い計画した。</p>

受益者の範囲 * 提案する事業の対象範囲を具体的に記入してください。

主に 40 歳以上(人生の折り返し時期にいる人から)時間を有効に使いたい、楽しみたい
と思っている女性

事業の成果 * の課題に対して、事業を実施することで得られる成果とは何ですか。

この事業に参加することにより、現代の育児方法(新常識)や離乳食を知ることができる。支援者となり、新常識を踏まえて話をすることができ、信頼関係が芽生える。子育て中の親を支援することで、支援者として社会とつながることができる。子育て世代は、支援者から生活のヒントや作ることを学び、親としての力を身につけることができる。誰でも集うことのできる場所となり、地域との繋がりが生まれる。

事業の目標

* の成果を測る目安です。想定する結果より少し高いレベルで設定してください。また、目標の進捗状況を市の指定するブログに定期的に投稿していただきます。できるだけ数値やパーセントを用いてください。
・(はなっこ)の会員登録者が1年後、20人以上となれば事業の充実につながると考えているが、まずは、去年の倍(8人)以上になることを目標にしたい。現在の事業には、全て(託児付)として開催しており、事業内容(得意なものを事業)に追加するときに、託児スタッフと事業担当者が重複して担当することがないように開催したい。

事業計画書(その 2)

事業の詳細

* 実施時期, 場所, 対象者, 内容, 特徴や重点事項など, できるだけ内容を明確にしてください。

〈実施期間〉 平成 28 年 5 月 ~ 29 年 2 月まで 5 ~ 6 回程度

〈実施場所〉 花田助産院、真備いきいきプラザ、倉敷市内公民館

〈対象者〉 子どもが好きな人(主に女性)
料理や手芸、物づくりが好きな人
子育てが落ち着いて、何かやりたい!と思っている人
今どきの子育てが知りたいと思っている人

〈内容〉

- 『ぐらん・ま』の子育て みまもり隊結集事業
 - ・離乳食教室 開催場所を変えて開催する(3回程度)
 - ・「助産師による」講座(2回)
 - 出産前後の特徴を知る
 - 育児(昔の子育ては参考にならない?!)の特徴を知る
 - ・ドリームマップ講座
 - 人生の折り返し地点にいる人のための自分探し講座
 - ドリマ先生 (橋本 玲子)
 - ・ わいわい手仕事などの会
 - 布ぞうりづくり (3回程度)
 - おばあちゃんのおやつづくり (2回程度)
 - おもちゃづくり(2回程度)

〈特徴、重要項目〉

- ・活動(物づくりや、手作業をしながら会話をすることが)が楽しい
- ・活動を通して、参加してくれた人が、自分のできる事や生きがいに気づくことが出来る
- ・好きな事を通して、子育て支援に参加できる
- ・地域との交流が生まれる

受益者負担 団体の財源確保のため、可能な限り参加費等を徴収してください。

* 参加費や受講料を一般の参加者から徴収しますか。該当するものを丸で囲んでください。

徴収する ・ 徴収しない

* 「徴収しない」とした場合、その理由を記入してください。

事業計画書(その3)

事業の見通し * 2年後, 3年後といった将来, 事業をどのように展開させていきますか。

- ・今年度、会員登録者が増加となるような、興味ある活動内容を計画実施する
- ・2年後、活動の拠点が、自分のできる事、やりたいことが活かせる場にする
- ・3年後、活動拠点を使って、子育て支援の場として地域交流ができている

団体の能力の活用

* 団体の持つ能力や特色を, 課題の解決にどう活かしていきますか。

- ・私たちの団体には、子育てや医療に関係する専門職がいます。それぞれの専門職としての能力を発揮し、講座を開くことが出来る。

他団体等との協力

* 他団体等と協力して事業を行う場合は, その団体名や役割を記入してください。

川辺地区町づくり推進協議会 資料の印刷やチラシの印刷配布、地域との交流拠点

行政との協働 自主事業部門の団体は記入不要

主となる部署名 () 主部署の同意 (あり ・ なし)

その他の部署名 (,)

協働する部署との協議

月 日 (内容:)

月 日 (内容:)

月 日 (内容:)

協働する部署の役割

予算書

(収入の部)

(単位：円)

項 目	金 額	内 容
受益者負担 (参加費, 受講料など)	94,000	1 事業参加費 500 円 × 12 回 × (各 12 人) ドリームマップ受講料 1,800 円 × 12 人
会費からの繰入金	28,000	はなっこ会費より繰入金
そ の 他		
市補助金	240,000	
合 計	362,000	

(支出の部)

(単位：円)

区 分	項 目	金 額	内 容
経費 (対象経費)	人件費(団体会員に支払うもの, 交通費を含む)	22,000	900 円 × 2 時間 × 3 人 × 4 日
	人件費(団体外部に支払うアルバイト代等)	9,000	900 円 × 3 時間 × 3 人
	謝 金 (講師等に支払うもの)	15,000	ドリームマップ; 自分探しの講座 講師料(材料費込)
	旅費交通費 (講師等に支払うもの)	10,000	講師交通費(東京 岡山)片道分の一部として
	消耗品費	30,000	材料費、食材費、文具、コピー用紙等
	印刷製本費	158,000	パンフレット印刷代(130,000)、チラシ・資料印刷等(8,000)、プリンター(20,000)
	通信運搬費	1,000	講師依頼文書送付等に当てる切手代等
	保険料	7,000	活動保険(300 円 × 10 人) 行事保険(350 円 × 12 回)
	使用料, 賃借料	15,000	会場使用料 2,500 円 × 6 回
	委託料	0	
	小計	267,000	
経費 (対象外経費)	報償費・人件費	45,000	離乳食(5,000 円 × 3 回) 子育て講座(15,000) 布ぞうり(3,000 円 × 3 人) おやつづくり(3,000 円 × 2 回)
	食糧費	0	
	その他	50,000	長机 2 脚、椅子 4 脚、調理台 1
	小計	95,000	
合 計	362,000		

(記入上の注意)

団体会員に人件費及び交通費を支払う場合は、申込み前に事務局に相談してください。
 実施可能な経費、内容に見合う経費で計画してください。過大な経費は避けてください。
 内容欄には、単価・数量等の内訳を記入してください。(別紙添付も可)
 事業実施のために直接必要な経費だけ計上してください。団体の運営経費は対象外です。
金額欄は切り上げて千円単位で記入してください。